

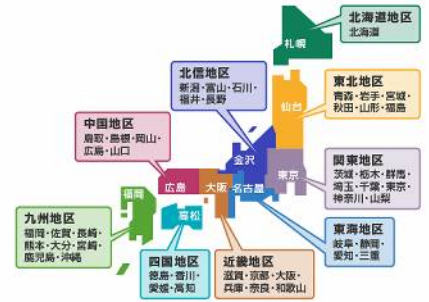


## とうほく通信 第15号

9月に入り、暑さやわらぐ過ごしやすい季節となりました。

団体の皆様には、共済会としてはもちろん、イチ市民としても大変お世話になっております。

どうか、少しでも季節を感じながら、いつも以上にご自愛くださいませ。



### 建物総合損害共済 業務規程の改正について

令和3年5月24日開催の理事会で決定した建物総合損害共済業務規程の改正について、令和3年6月14日、3東北第29号「相互救済事業見直しの検討状況等について(ご報告)」の文書を送付させていただきました。

特に、「雪災及び土砂災害のてん補割合50%(令和4年4月1日施行)」と「分担金基率の改正(令和5年4月1日改正予定)」が大きく変更となります。



どうして『雪災』と『土砂災害』のてん補割合100%から、『風水災』のてん補割合50%と同じ取扱いにして、補償を引き下げるの？

昭和39年度に火災共済から建物総合損害共済に移行した際、『風水雪害』てん補割合10%としてスタートし、昭和61年度に『風水雪害』のてん補割合50%に拡大しました。しかし、平成17年度に、雪災の被災が少ないことから、風水災とは別に雪災のてん補割合100%に拡大した経緯があります。近年は、風水災と同様に、雪災も広域かつ甚大な災害になる傾向があり、風水災と区別することなく広く自然災害として公平性を保つべく、共通の取扱いに戻すことになりました。



じゃあ、『土砂災害』はどうして、てん補割合50%にするの？

土砂災害は、ほとんどが水災を原因として発生しているにもかかわらず、水災と異なる補償割合で支払ってきました。合理性、公平性を保つためにも、風水災と区別することなく、広く自然災害として整理し、『土砂災害』もてん補割合50%にすることになりました。





分担金基率の改正で分担金基率を引き上げるってことは、分担金が増えるんだよね？  
どうして引き上げないといけなくなったの？

平成30年、令和元年に発生した大規模な自然災害は、過去最悪の被害をもたらしたことで、これまでの想定をはるかに超える災害共済金(見込額含む)となりました。これにより、2年連続で分担金収入を上回る災害共済金(見込額含む)の支払額となり、このままでは災害共済金及び事業費を賄うことができない状態にあります。今後も、同規模の自然災害が起こることは想像に難しくなく、共済事業の持続性を確保するために、分担金基率を引き上げることになりました。



疑問や不明点などありましたら、東北地区事務局まで御連絡をお願いいたします。  
今後とも、公益社団法人全国市有物件災害共済会をどうぞよろしくお願い申し上げます。



## 令和2年度地震災害見舞金について

令和3年2月に発生した福島県沖地震、令和3年3月に発生した宮城県沖地震について、地震災害見舞金の事故報告書の提出は令和3年9月末を締切としています。

公務で大変お忙しいところ恐縮ではありますが、まだ事故報告をされていない団体担当者様は、FAXやメールなどにて事故報告をお願いいたします。

また、事故報告書や資料などすべて御提出いただいている団体担当者様におかれましては、現在、内容の確認を行っております。今しばらくお待ちいただければ幸いです。

ただければ幸いです。

故防止の取り組みの一環として安全運転講習会の実施を御検討いただければ幸いです。

可能です。

講師派遣の依頼をいただいております。また、共済会の自動車共済に加入していない委託団体様でも安全運転講習会への講師派遣が

危険予知トレーニングなどを組み込んで講演しております。

すでに今年度も複数の委託団体様から安全運転講習会を開催し

務中に発生した事故に伴う責任についての説明、事故防止のための

東北地区や開催する委託団体様の事故件数や事故状況の紹介、公

託団体様からの要望に合わせて作成いたしますが具体例としては、

の講演料や交通費は無料で行っております。講演内容については委

託団体様の会議室や講堂に直接お伺いさせていただきます。その際

してあります。

普段自動車事故の示談交渉を業務としている共済会の職員が委

託団体様の会議室や講堂に直接お伺いさせていただきます。その際

した事故に關してその損害を最小限に抑えるための対策や抑止とい

う観点から、委託団体様で開催される安全運転講習会に講師を派遣

してあります。

今年度も委託団体様に案内文書にて御案内をさせていただきま

した。共済会では公務中の自動車事故防止や万が一起きてしまっ

た事故に關してその損害を最小限に抑えるための対策や抑止とい

う観点から、委託団体様で開催される安全運転講習会に講師を派遣

してあります。

今回皆様に御案内したいことは安全運転講習会の講師派遣につ

いてです。

初秋の候、皆様におかれましては、ますます御清栄のこととお

喜び申し上げます。東北地区事務局の協田です。

